



登場キャラクター このお話に出てくる生きものたち

【解説】

モツゴ、クロダハゼ（トウヨシノボリ）、スジエビは、関東地方の水辺によくみられる日本にもともといた生きものです。

アメリカザリガニは、最近になって日本にやってきた外来種といわれる生きものです。この話にあるように、外来種が増えすぎると、水草を食べつくしたり、他の生きものを襲ってしまったりして、もともとそこにあった生きものや環境に大きな影響を与えます。

もともとあった環境が壊れてしまうと、その環境で生きている生きものの居場所がなくなってしまい、様々な生きものの暮らしを支えている生態系を壊してしまうことになるかもしれません。この影響は、巡り巡って、人間へも跳ね返ってくることもあります。

もちろんザリーが悪いわけではありません。彼らは、連れてこられた場所で、いっしょうけんめい生きているだけなのですから…。

私たちはどうすればいいでしょうか。

この紙芝居を見た後で、みんな考えて、話し合ってみてください。

